

もいかわ通信

令和元年度 第152号
2月19日 発行
岩手河川国道事務所 盛岡出張所
〒020-0862
盛岡市東仙北一丁目11-11
TEL 019-636-0444
FAX 019-636-1047

～北上川の源泉 “弓弭(ゆはず)の泉”～

岩手県岩手町から宮城県石巻市まで流れている『北上川』は、全長が約249kmにも及ぶ東北最大、全国5位の長さになる川です。今回は、そんな北上川についてのおはなしです。

北上川の源泉は、岩手町にある『御堂観音(みどうかんのん)』の境内にあります。正式には『天台宗北上山新通法寺正覚院』という名前のお寺ですが、地元では『御堂観音』と呼ばれ、定着しています。平安時代初期に坂上田村麻呂将軍が祈願所として建立したといわれています。

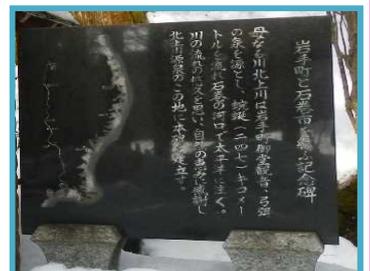


【御堂観音】

弓弭の泉の由来について伝説が残されています。

～弓弭の泉伝説～

平安時代天喜5年6月、源頼義、義家父子率いる朝廷軍はこの地の豪族・安倍氏を討つため軍を率いて北へと進軍していました。しかし、長く続く炎暑に兵馬とも疲れ果て、士気も上がりませんでした。その際、義家が巨大な杉の木にお祈りをし、手にしていた弓弭(弓のつるをかける先端部分)でその木の根元を突くと、にわかに清水が湧き出てきました。兵馬ともにぐくぐくとその清水を飲み、みな生き返ったように元気になり、安倍氏を討ち、のちに「前九年の役」と言われる長く続いた戦乱を鎮圧したといわれています。



☆弓弭の泉近くにある記念碑☆